



国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力協定 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

1. 国際会議

1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2003年 8月4～5日	東 海	「JNC/BNFL（英国原子燃料会社）技術情報交換会合」
9月4～5日	大 洗	「JNC/CEA（仏国原子力庁）技術情報交換会合」
9月8～12日	大 洗	「JNC-FZK（独国カールスルーエ研究所）/CEA SIMMER- コードの開発・検証に係る技術会合」
9月17～19日	東 海	「RCC実験プロジェクト（コロイドと放射線核種の遅延評価に関する実験プロジェクト）ワークショップ」

1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2003年 7月8～9日	加国 ウィニペグ	「JNC/AECL（カナダ原子力公社）トンネルシーリング性能試験に関する調整／運営会議」
9月1～5日	露国 オブニンスク	「JNC/IPPE（露国物理エネルギー研究所）共同研究技術会合」
9月26日	韓国 慶州	「JNC/KAERI（韓国原子力研究所）高レベル放射性廃棄物の地層処分研究開発に関する研究協力会議準備会合」

2. 海外派遣・留学

派 遣 ・ 留 学 先	期 間	目 的
IAEA（国際原子力機関）	2003年9月～2005年9月	IAEA保障措置分析業務
仏国 フェニックス発電所	2003年9月～2005年9月	原子炉の運転経験・保守経験に関する調査・情報収集及び情報交換
仏国 フェニックス発電所	2003年9月～2004年9月	原子炉の運転経験・保守経験に関する調査・情報収集及び情報交換
仏国 IRSN（原子力安全・放射線防護研究所）	2003年9月～2004年8月	中性子校正場の相互比較試験研究及び各種線量計の特性試験の実施
米国 カリフォルニア大学バークレー校	2003年10月～2004年9月	平成15年度海外派遣研修

3．主要外国人の来訪

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
2003年7月2日	東京事務所	NEAエチャバリ事務局長
2003年9月17日	大 洗	BNFLイオン執行役員

4．国際協力協定

特になし

5．余剰兵器解体プルトニウム（解体プル）処分協力

(1) 3体デモ照射は、ロシア原子炉科学研究所（RIAR^{*1}）との共同研究契約に基づき、4月から1体の燃料集合体の照射後試験を実施している。外観検査の後、集合体を解体し、現在燃料ピンの非破壊試験を実施している。

(2) BN600安全解析は、ロシア物理エネルギー研究所（IPPE^{*2}）との共同研究契約に基づき、BN600^{*3}のハイブリッド炉心化に際しての安

全性について評価及び解析を実施している。

(3) RIAR施設整備は、RIARとの共同研究契約に基づき、BN600ハイブリッド炉心へ燃料供給する設備の改造を実施している。

* 1) RIAR：Research Institute of Atomic Reactors 原子炉科学研究所

* 2) IPPE：Institute of Physics and Power Engineering 物理エネルギー研究所

* 3) BN600：Buistrui Neutron (Fast Neutron)600 ロシアの高速原型炉

（本社：国際・核物質管理部）